

各 位

令和 6 年度稲作情報第 4 号について

このことについて送付しますので、業務および水稻栽培の参考にしてください。

令和 6 年度 稲作情報 第 4 号

唐津農林事務所 東松浦農業振興センター長

1. 気象概況(観測点:唐津アメダスデータ)

※表記方法:6 半旬別(1ヶ月を 6 分割。1 半旬は 1~5 日となります。)

気温:平均 降水量・日照時間:合計

※平年値:平成 22 年~令和 2 年(11 年)の平均値

月	半旬	平均気温 (°C)		最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		平年	R6	平年	R6	平年	R6	平年	R6	平年	R6
5	1	17.4	17.8	22.4	21.9	12.8	14.1	20.1	4.5	35.5	32.5
	2	18.1	17.1	23.1	22.2	13.6	13.4	24.4	11.0	35.0	20.4
	3	18.8	18.5	23.7	23.5	14.3	13.4	26.1	37.5	35.1	40.3
	4	19.4	19.3	24.3	26.4	15.0	12.9	22.2	0.5	35.5	59.0
	5	19.9	20.2	24.8	25.4	15.7	17.0	17.8	0.0	34.0	28.2
	6	20.4	19.7	25.0	25.2	16.5	14.9	18.5	87.5	37.1	30.3

5 月 6 半旬の平均気温は平年並みで推移した。5 月 26 日から 27 日にまとまった降雨があり、降水量は平年の 4 倍以上と多く、日照時間は平年の 8 割と短かった。

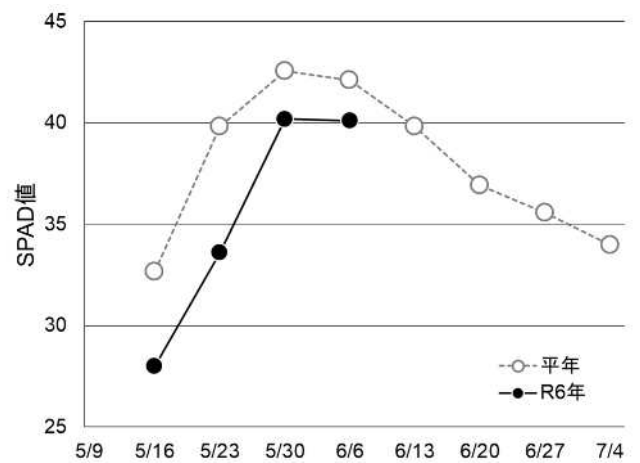
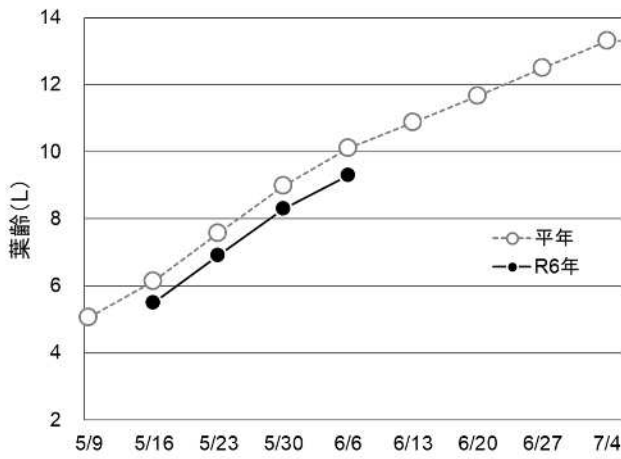
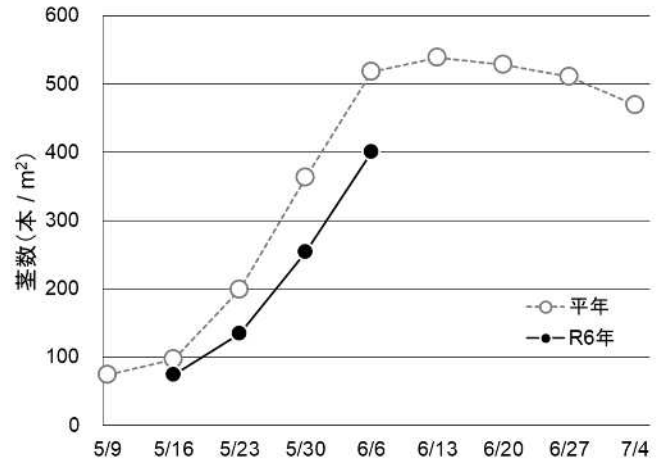
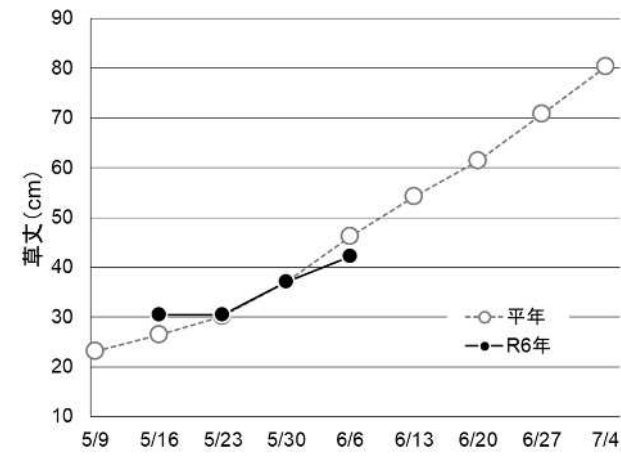
2. 生育状況

上場コシヒカリ情報田調査結果 鎮西町潟 4 月 25 日移植 17.0 株/m²(56 株/坪)

(6 月 5 日調査結果)

項目	本年	前年	平年	前年比・差	平年比・差	備考
草丈(cm)	42.2	51.3	46.2	82	91	低い
茎数(本/m ²)	401	444	518	90	77	少ない
葉齢(L)	9.3	10.4	10.1	-1.1	-0.8	遅い
葉色(SPAD)	40.1	43.6	42.1	-3.5	-2.0	薄い
葉色(葉色板)	3.8	4.1	4.1	-0.3	-0.3	薄い

※平年値:平成29年~令和5年までの値から最高・最低値を除いた平均値



5月6半旬の日照時間が短かったため、草丈が平年よりもやや低く推移している。移植後に日照時間が確保されず、5月中頃に冷え込んだことから、茎数は平年の8割と依然として少なく推移しており、葉齢と葉色の発現についても平年より遅れている。

3. 今後の管理について

(1) 有効茎が確保された圃場では中干しに移行する。

- ・1株あたり20～25本の分けつ茎が確保され、株が開張して圃場の半分から奥の株間が見えなくなり出した頃が中干し開始の目安です。
- ・中干しは田面に軽い亀裂が入り、足を踏み入れれば足跡がわずかに付く程度に行ってください。
- ・中干しを行うことで土壤に酸素が供給されやすくなり、生育後半まで根の活性を維持することができます。
- ・下層へ根を伸ばして根量を増加させ、さらに株元の土壤を固めることで倒伏を軽減することができます。
- ・中干しによって地面を固めることで収穫作業が行いやすくなります。コンバインがはまり込むようなぬかるんだ圃場では必ず中干しを行ってください。
- ・中干しを行う前に溝切をすると、登熟期の水管理や収穫前の排水が行いやすくなります。

(2) イネクロカメムシやいもち病が見られる圃場では薬剤防除を行う。

- ・例年イネクロカメムシが多発し、吸汁による生育抑制が見られています。イネクロカメムシが見られる圃場ではスタークル粒剤を散布してください。
- ・曇雨天が続くといもち病が発生しやすくなります。いもち病が発生した場合はオリブライト粒剤を散布してください。また補植用の置き苗はいもち病の発生源になるので早急に処分してください。



イネクロカメムシ

(3) 雑草が見られる場合は中後期除草剤を散布する。

- ・雑草が発生している圃場では、雑草の状況を見ながら中後期除草剤を選び、散布遅れのないよう速やかに処理してください。

中後期除草剤一覧

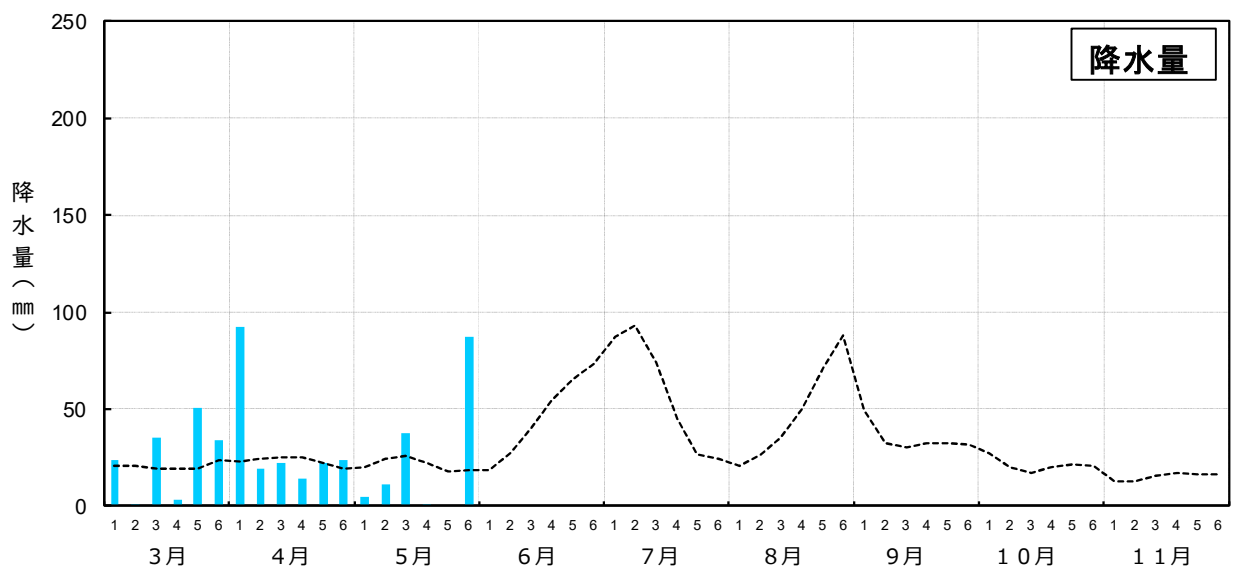
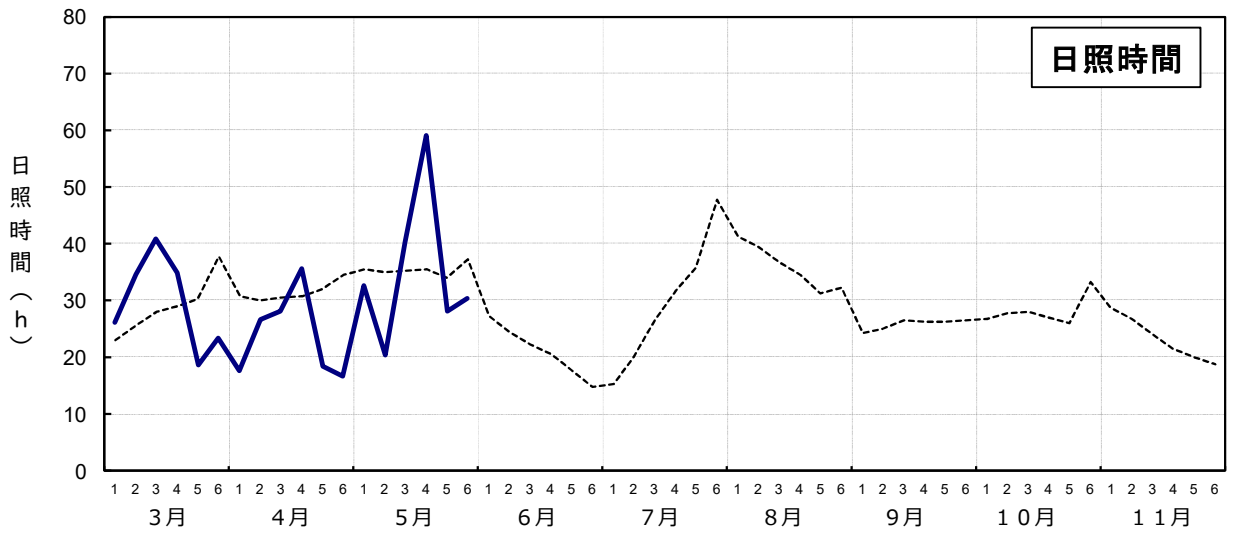
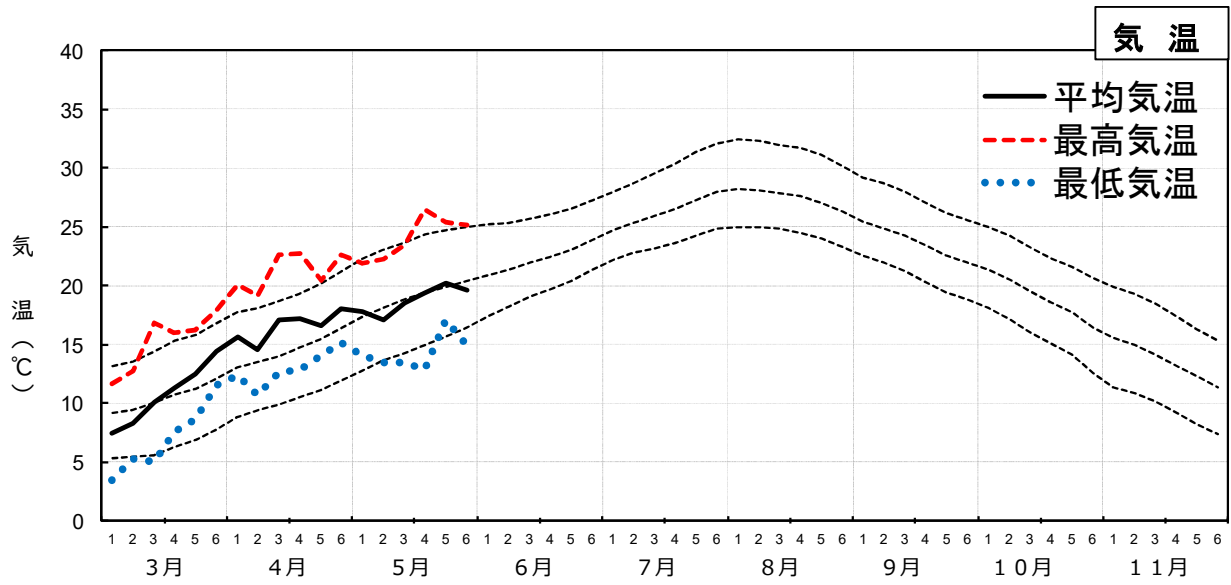
除草剤名	対象	使用時期	備考
クリンチャー1キロ粒剤	ヒエ	移植後7日～ノビエ4L ただし収穫30日前まで	湛水散布（3～4日湛水）
クリンチャーEW		移植後20日～ノビエ6L ただし収穫30日前まで	落水または湛水散布（3～4日湛水） 展着剤加用
バサグラン粒剤*	広葉雑草	移植後15～55日 ただし収穫60日前まで	落水～極浅く湛水散布 最低3日間（浅水処理は5日間）入落水しない
バサグラン液剤*		移植後15～55日 ただし収穫50日前まで	落水～極浅く湛水散布 最低3日間（浅水処理は5日間）入落水しない 高温条件下では薬害が生じやすいため夕方散布する
クリンチャーバスME液剤	ヒエ類 および	移植後15日～ノビエ5L ただし収穫50日前まで	落水～極浅く湛水散布 最低3日間（浅水処理は5日間）入落水しない 高温条件下では薬害が生じやすいため夕方散布する
ヒエクリーンバサグラン粒剤	広葉雑草	移植後15日～ノビエ4L ただし収穫60日前まで	極浅く湛水散布 最低3日間入落水しない

※バサグラン粒剤およびバサグラン液剤の成分は、水に溶解して効果が不安定になりやすいため、

除草効果を高めるために落水散布し、落水状態を最低3日間維持してください。

※県特別栽培表示制度に取り組んでいる圃場では、使用可能な薬剤の成分数に上限があるので注意してください。

令和6年産 水稲作付期間気象図 アメダス観測値(唐津)



注) 平年値: 平成22年~令和2年の平均値